

活用方法

夢ナビ進路探究ワークBOOK 5つのワークで進路研究を体系化

学ぶ内容を自分で決める「自由進度学習」もサポート

生徒が進路選択に向けた学習過程を能動的に進めていく力を育むために、
個々の文脈に合わせた学問研究、大学・学部・学科の検討ができるワークを用意しています。



概要 学びたい学問・探究したいテーマの発見／社会貢献の意識の醸成 明確な目標設定／大学選択基準の形成

学習過程の個別最適化をサポート

目的に合う夢ナビの活用方法を認識し、
個別最適な学問研究に取り組むことをサポートします。
各ステップで、A「学習方法」、B「生徒事例」、C「視聴準備ワーク×振り返りレポート」を掲載。学問発見・偶発的な出会いの効力・方法を確認することで、学習過程が個別最適になることが期待できます。



自由進度学習をサポート

学ぶ内容を自分で選択し、
学習過程に能動的に関わることをサポートします。
5つのステップの中から、自分に適した内容・重要な内容を選択して、自分なりの目的を設定して取り組むことができます。上記ABCにより、自分で決めた目的を達成できる学習過程となることをサポートします。



自分で選択する

自分で課題や目標を設定し、自分でよりよい選択肢を選び、
自分で行動・試行錯誤していく学び

ワーク1 「興味・関心」をきっかけに 学びたい学問の視野を広げる

生徒の課題 大学の学びについて、自身の興味・関心と関連付けることが難しい。
解決 理系・文系に留まらず、興味・関心の先にある多様な進路の可能性を発見できる。



ワーク2 大学の学びから 「社会にどう関わりたいのか」を考える

生徒の課題 社会にどう関わりたいのか、イメージすることが難しい。
解決 SDGs×夢ナビ講義動画で生徒が社会課題解決を自分ごとに行うことができる。



ワーク3 学問分野から 学びたい学問を深める

生徒の課題 学びたいことが漠然としている。狭い知識の中からの選択に留まっている。
解決 各分野の多彩で専門的な研究テーマから、学びたいことの解像度を高め、具体化できる。



探究テーマの「学問研究への接続」でも 個別最適化をサポート

探究学習の「課題・テーマ設定」のサポート

「興味・関心」と「社会参画(SDGs)」の視点を踏まえた、探究の原動力となる「課題・テーマ設定」をサポート。

探究学習後の学問研究への接続をサポート

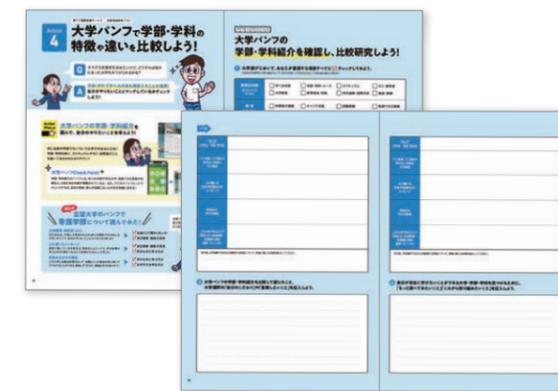
探究テーマに関連する様々な大学教授の研究から、自身が大学で何を学びたいかの選択肢を作ることができる。

探究学習を生かした進路実現・社会貢献

自己の在り方・生き方を考え、よりよい社会を実現するための態度を養う。探究学習と進路研究の両面から、自ら将来像を描くことをサポートし、社会で生かされる「主体性」と「自ら選択肢を作る力」を育む。

ワーク4 大学を比較し、やりたいことができる学部・学科を見極める

生徒の課題 学びたい学問と大学のマッチングの機会、選択基準の検討機会が少ない。
解決 信頼できる大学案内パンフの情報を整理・比較し、自分に合う選択肢や選択基準を作る。



ワーク5 志望理由書の作成準備を始める

生徒の課題 内的動機や自分なりの切り口が足りない。解像度や独自性を高める必要がある。
解決 多様な研究テーマをモデルケースとし、学びを通して社会にどう関わるかを見出させる。

